

News Release



2015年11月4日

SOL ASIA HOLDINGS PTE. LTD.

『インドネシア・日本企業 意見交換会』参加のお知らせ

～インドネシア共和国、安全な農産物生産の為に
フードバリューチェーン構築に向けたエグゼクティブプログラム～
【主催】：国際協力機構（JICA）【共催】：農林水産省・駐日インドネシア大使館

SOL ASIA HOLDINGS PTE. LTD.（本社：Singapore 日本支社：東京都品川区、代表取締役社長 赤尾 伸悟、以下「当社」）は、平成 27 年 10 月 30 日、“インドネシア共和国（以下「インドネシア」）、安全な農産物生産の為にフードバリューチェーン構築に向けたエグゼクティブプログラム | インドネシア・日本企業意見交換会”（【主催】：国際協力機構（JICA）【共催】：駐日インドネシア大使館・農林水産省）に参加いたしました。

インドネシア・日本企業意見交換会では、当社 代表取締役社長 赤尾 伸悟 が、スーパーソルガムの事業概略とインドネシアの農業の発展と農業従事者に当社が貢献できることについてプレゼンテーションを行いました。プレゼンの中で、原料作物と呼ばれているスーパーソルガムは、高収量性が生み出す生産コストの低減と最適系統の選抜が生むサイレージ、バイオマスペレット等製品の高品質化が可能で、市場の強いニーズがあり優れた競争優位性を確立できること、現在のインドネシアでの取り組みがロールモデルとなり、ASEAN 諸国に発信していくことを説明させていただきました。

当社はプレゼンテーションの中でお伝えしたとおり、インドネシアの経済・農業の発展、地域に貢献できるように全力で事業に邁進して参ります。また今後も引き続き、新たな発想とアプローチによる付加価値を創造しオンリーワン企業を目指して、お客様の期待に応えられるよう鋭意努力してまいります。

以 上



■「インドネシア・日本企業意見交換会」概略

開催日時：平成 27 年 10 月 30 日（金）

開催場所：JICA 研究所 国際会議場

主 催：国際協力機構 (JICA)

共 催：農林水産省、駐日インドネシア大使館

1. 背景・経緯

2015 年 6 月にジャカルタにて開催された日本・インドネシア二国間農業対話においては、日本のグローバルフードバリュー戦略が紹介され、インドネシア側から高い関心が示されました。これを踏まえ、インドネシア農業省等の幹部を招へいし、日本のグローバル・フードバリューチェーン構築の仕組みを紹介するとともに、インドネシアに関心を有する民間企業との意見交換会及び新規プロジェクトの実施に向けた協議等を行うことを目的に、招聘事業を実施することになりました。

2. インドネシア側参加者

農業省 事務次官、国際協力長、園芸総局官房長、園芸総局協力推進課長、国際協力局担当職員、西ジャワ州農政局長、ボゴール市農政局長、スカブミ市農政局長、チアンジュール県 STA センター長、ガロット県 STA センター長、ボゴール市 STA センター長、スカブミ市 STA センター長、農家グループ代表アマランダ社代表

1. インドネシア・日本企業意見交換会プレゼンテーションの様子（JICA 研究所 国際会議場にて） SOL ASIA HOLDINGS 代表取締役社長 赤尾伸悟



